

平成26年度 全国委員長会議・委員総会 報告

1 報告事項

(1) ルール変更

① タッチネット について

平成 27 年度 4 月から導入されることが決定

「ボールをプレーする動作中の選手による、両アンテナ間のネットへの接触は反則である。」

② フリーゾーン幅の変更について

「フリーゾーンの幅は、サイドラインから最小限 5 m、エンドラインから最小限 6.5m なければならない。」

※エンドライン後方のフリーゾーンの幅が最小限 8 m → 最小限 6.5m に変更された。

③ レセプション(サーブレシーブ)のダブルコンタクトについて

ルールブックから、記述が削除された。

※ただし、従来通りキャッチ(ホールディング)は、反則である。

(2) 平成 27 年度全国大会使用球

男子：モルテン(V5M5000) 女子：ミカサ(MVA300)

(3) 平成 27 年度インターハイ(近畿ブロック)

日程・会場 女子 平成 27 年 7 月 28 日(火)～8 月 1 日(土) 大阪市(舞洲アリーナ)
岸和田市(岸和田市総合体育館)
男子 平成 27 年 8 月 2 日(日)～8 月 6 日(木) 大阪市(舞洲アリーナ)
岸和田市(岸和田市総合体育館)

(4) 第 68 回全日本バレーボール高等学校選手権大会

日程・会場 平成 28 年 1 月 5 日(火)～1 月 7 日(木) 1～3 回戦 東京体育館
平成 28 年 1 月 9 日(土)～1 月 10 日(日) 準決勝・決勝 東京体育館

(5) 2015 全日本ジュニアオールスタートレームマッチ東西対抗大阪大会

日程・会場 平成 27 年 2 月 21 日(土)～22 日(日)・・・舞洲アリーナ

その他 4 チーム編成しリーグ戦を行う。

監督は本部指名される。

コーチは各ブロックで選出(男女をブロックで輪番)

中国ブロック 今年度 中国ブロック

男子 島県立隠岐高校 合田先生

来年度 女子(広島県 中国大会開催県)

(6) 平成 26 年度全国高校選抜合宿

日程・会場 平成 27 年 3 月 22 日(日)～3 月 27 日(金)・・・舞洲アリーナ

(7) 全国専門部表彰

第 10 回アジアユース男子選手権大会 第 2 位 岡山県立玉野光南高校 中西雅暉
平成 26 年 9 月 5 日(金)～13 日(土) スリランカ(コロンボ)

第 10 回アジアユース女子選手権大会 優勝 就実高校 万代真奈美
平成 26 年 10 月 11(土)～19 日(日) タイ(ナコンラチャシマ)

(8)その他

- ①体罰の根絶(別紙)
- ②大会期間中の怪我等・・・チームと大会本部が連絡を取りながら対応する。

2 チームの留意事項

(1)ユニホームについて

- ①ユニホームの番号のサイズ(ブロック大会以上では厳守)
ユニホームの上着は必ず入れる(入れなくても良いデザインでも)。
ソックスも統一。(くるぶしソックスは着用禁止)
※シューズは統一されていなくても良い。

②アンダーシャツについて

- 襟元、袖口、パンツ裾から、サポーター以外が、はみ出してはいけない。
※従前、「チームで揃っていれば、ユニホームの一部とみなす。」との解釈もあったがアンダーシャツのはみ出しは禁止された。

③文字やマークは、校名、校章、都道府県名のみ

④リベロプレイヤーのユニホーム

- ベストではなく色の異なるユニホームを着用しなければならない。
異なる色とは、明瞭に違いがわかること。
ただし、リベロプレイヤーの負傷交代に備えてベストの準備は必要(本部)。

(2)給水タイムについて

- 来年度も明確な規定はないが、熱中症予防として採用してもよい。
※各都道府県によって、採用状況や時間、回数はさまざま。
※岡山県は H26 年度、県総体において「テクニカルタイムアウトとして採用」した。H27 年度も同様に導入する予定。

(3)リベロプレイヤーはチームキャプテンになることができる。

(4)ベンチ入りできるリベロの人数

- 12名以内・・・0、1、2名
- 13名・・・2名(1名は不可)
- 14名・・・2名

(5)リベロプレイヤーがプレーヤーへ復帰

- チーム構成員7名(正規プレイヤー6名+リベロ1名)もしくはチーム構成員8名(正規プレイヤー6名+リベロ2名)の場合、正規プレイヤーが負傷しゲームに復帰できなくなった場合には、リベロプレイヤーが正規プレイヤーに復帰できる。(高体連特別ルール)
※可能な限りゲームを継続させようとする教育的配慮。

(6)ベンチスタッフの服装(ブロック大会以上)

- 監督とコーチは同じ服装・・・襟があるもの
- マネージャー 生徒の場合：監督と異なってもよい(選手と同じジャージ等)
- 教職員の場合：監督と同じ

(7)審判団と監督のあいさつ

- 試合終了後、記録席で互いにあいさつを行うこと。